

熊本の地産地消の推進に関する施策の報告

1 令和6年度(2024年度)の実績

(1) 県民の県内農林水産物等への理解の深化及び郷土愛の育成

郷土料理の伝承、「食育」及び「木育」に係る活動、各種広報を活用した県内農林水産物等に係る情報提供等を行い、県内農林水産物等に対する理解を深め、郷土愛を育む。

番号	事業又は取組名	令和6年度予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部局・課
1	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「SNS等を活用した情報発信」	22,135の一部
	地産地消に関する県公式SNS等(LINE等)で、県産品の魅力や農業に携わる方々などの情報発信を行うとともに、地産地消サイト(県ホームページ)と連携・連動させた広報展開を行うことで、より広く県民に対してPRを行った。 【実績】 HP記事配信: 18回 LINE(25回)、X(44回)、Facebook(23回)記事配信 Instagram記事・動画配信: 40回	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課
2	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「地産地消サイト運営」	1,678の一部
	熊本県の多彩な農産物やそれを使った料理、さらに「くまもとふるさと食の名人」や関連するイベントなどの情報を提供することで、地域で生産したものを地域で消費する「地産地消」の啓発を行った。 【実績】 くまもとのアグリ&フード地産地消サイト閲覧数: 58,369PV	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課
3	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「くまもと食・農ネットワークが行う地産地消イベントの支援」	1,495
	地産地消を県民的な取組みとして進めていくために、生産者と消費者の交流が随時行われるよう「くまもと食・農ネットワーク」会員が主体となって行う地産地消イベントやYouTubeによる情報発信を支援した。 【実績】 小学生を対象としたイベント: 1回 小学生を対象とした意識啓発動画: 1本	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課
4	フードバリューチェーン構築推進事業	8,417の一部
	県産農林畜水産物等の付加価値の向上を実現するために、地産地消に取組む直売所等に対し、フードバリューチェーンの機能強化につながる機材導入等の経費を支援した。 【実績】 ・補助件数: 3件(2,978千円)	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課
5	卸売市場整備活性化事業のうち「拠点卸売市場活力アップ事業」	1,000
	熊本地方卸売市場の今後の市場整備のあり方について検討するための会議開催や、県産農林畜水産物の認知度アップと消費拡大を図るための料理教室の開催、HPによる情報発信等の活動を支援した。 【実績】 研修2回、料理教室等7回、広報活動9回	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課

	庁舎ロビーへの県産品展示	(ゼロ予算)
6	県庁本館1階ロビー受付横の展示ケースや地下展示ケースに、県産酒消費拡大を目的とした県産酒の展示や、大消費地でのフェアおよびコロナ禍からの県産酒消費回復のためのキャンペーン周知のための展示を行った。 【実績】 ・1階ロビー展示: 通年 ・地下展示ケース: 8月、9月、10月 県産酒・県産品のPR	食のみやこ推進局 販路拡大ビジネス課
	ふるさとくまもと応援寄附金推進費のうち「感謝の品贈呈」	228,554の一部
7	「ふるさとくまもと応援寄附金」に係る寄附者に対して、熊本県からの感謝の意を示し、併せて県産品のPRに資することを目的として、県産品を「感謝の品」として贈呈した。 【実績】 ・デコポン、トマト等1,226品目の中から11,851セット贈呈(R7.3.31時点)	総務部 税務課
	天草エアライン利用者に対する県産品の提供及びパンフレットの配布	(ゼロ予算)
8	地域の生産者・事業者と連携し、機内で県産品(加工品)の提供やパンフレットの配布を行い、県産品の認知度を高めることにより、県産品の販路拡大、ひいては地域産業の振興を図った。 【実績】 みかんちゃん(ジュース): 18,053本、天草サブレ: 2,670個、四郎の初恋: 1,133個、いちじく餅: 710個、すずめのたまご: 6,613個、車えび煎餅: 5,079個	企画振興部 交通政策課
	子どもの食育推進事業のうち「地域における食育相談事業」	967
9	子ども自身が健康で豊かな食生活を営む力を身に付けるとともに、保護者や施設職員が食生活の知識や技術を習得できるよう、地元の食材を使用した調理実習、栄養相談、講話等を実施した。 【実績】 ・実施施設数: 15施設	健康福祉部 子ども未来課
	健康食生活・食育推進事業における地産地消推進の取組	4,754の一部
10	「第4次県健康食生活・食育推進計画」に基づき、健康食生活・食育推進連携会議の開催や、熊本県民食生活指針による食育実践行動の普及啓発を実施した。 また、健康的な食生活を実践しやすい環境づくりを進めるため、くま食健康マイスター店事業において、「県産品の積極的活用(地産地消)」を取組基本項目の一つとして募集・指定を実施した。 【実績】 ・指定店舗数: 197店舗(R7.3月時点)	健康福祉部 健康づくり推進課

11	「大型店の立地に関するガイドライン」による大型店への協力要請	(ゼロ予算)
	大規模小売店舗立地法に係る新設及び増床等の変更の届出があった大型店に対し、県の意見を通知する際に、ガイドラインで大型店に求める地域貢献策(県産品の販売促進・需要拡大への協力)への取組みを要請し、特定大型店においては地域貢献計画書の届出により協力姿勢を確認した。 【実績】 ・県の意見を通知した全店舗(12店舗)に対し、地域貢献策の取組みを要請した。 ・地域貢献計画書の届出があった特定大型店(2店舗)の協力姿勢を確認した。	商工労働部 商工振興金融課
12	「くまもと手仕事ごよみ」の情報発信	(ゼロ予算)
	令和5年度に制作した動画を活用して、YouTube等のSNSでの配信や熊本県立劇場のデジタルサイネージでの上映など、四季折々の地域の伝統工芸、伝統食、伝承芸能等に関する情報発信を行った。	観光文化部 観光文化政策課
13	デジタルマーケティング事業のうち「くまもっとグルメ」デジタルプロモーション	(ゼロ予算)
	熊本の食のブランドをアピールするため、熊本のグルメ(「ラーメン」「スイーツ」)を題材に、令和3年度(2021年度)に制作した、音楽とリズムにこだわり、「思わず食べたくなる」ウェブ動画・特集ページの公開を継続した。 【実績】 ・WEB動画「くまもっとグルメラーメン編」は約84万回再生 ・第二弾のWEB動画「くまもっとグルメ スイーツ編」は約1.7万回再生	観光文化部 観光振興課
14	熊本の「食」を活用した誘客の促進	10,834の一部
	県外における熊本の「食」「県産品」の提供を通じて、認知度向上及び、熊本への誘客に繋がる活動を展開した。 【実績】 くまもっとうまか応援店 東京31店舗、大阪34店舗、福岡62店舗	観光文化部 観光振興課
15	交通事業者、旅行会社等と連携した誘客促進	29,084の一部
	交通事業者及び旅行会社等と連携し、各種プロモーションにおいて、パンフレットや、SNS等で熊本の「食」を紹介した。 【実績】 ・熊本空港と新千歳空港を結ぶチャーター便の運航に合わせて、北海道で観光及び県産品のPRを行った。(R6.6) ・JR九州と連携した誘客キャンペーンにおいて、パンフレットや特設サイト等で熊本の「食」を紹介した。(R6.10～R7.3)	観光文化部 観光振興課
16	プロスポーツによる地域活性化事業のうち「ロアッソ熊本支援県民運動推進事業」	3,000の一部
	2024シーズンロアッソ熊本「火の国もりあげタイ！」の活動地域となる3町村(南小国町、津奈木町、水上村)を中心としたホームゲーム時の県内市町村物産展開催や、アウェイゲームでの熊本の観光物産振興に係る情報発信を行った。 【実績】 ・南小国町:11/4仙台戦 観光PR及び地元産品販売 ・津奈木町:10/6徳島戦 観光PR及び地元産品販売 ・水上村:10/20山口戦 観光PR及び地元産品販売	観光文化部 スポーツ交流企画課

17	農林水産業・地域の振興推進事業のうち「くまもと農業フェア負担金」	1,600
	県民に本県の農畜産物を広くPRするとともに、「食の安全・安心」、「農業の多面的機能」等について理解を促進した。 【実績】 ・開催期間:11月9日～10日 ・開催内容:県農業公園でのPR・理解促進活動	農林水産部 農林水産政策課
18	くまもとの米魅力発信・競争力強化支援事業のうち「食育・米消費拡大対策」	1,633
	県産米の消費拡大を図るため、教育機関等と連携し、ごはん中心の日本型食生活を推進する食育や研修、情報発信等を実施した。 【実績】 ・「くまもとのお米の本」を県内全小学校等に配布 19,750部 ・小中学校・高校等を対象に調理実習等を実施 31回	農林水産部 農産園芸課
19	ふるさとの食継承・活用推進事業のうち「食文化継承事業」	1,635
	各市町村における「くまもとふるさと食の名人」の持続的確保と活用を進めるとともに、「くまもと食文化アドバイザー」を依頼し、より効果的な食育活動を支援した。 【実績】 ・食の名人新規認定者数:6名 活動者総数275名	農林水産部 むらづくり課
20	ふるさとの食継承・活用推進事業のうち「くまもとふるさと食の名人派遣事業」	2,747
	食の名人を小、中、高等学校に派遣し、「ふるさと食の技」の伝承や農業への理解を深めるための活動を支援した。 【実績】 ・派遣した食の名人数: 延69名 ・派遣先 :16団体 ・派遣回数 :27回 ・受講者数:571名	農林水産部 むらづくり課
21	特用林産物流通促進事業	3,774
	山村地域の重要な収入源である特用林産物の生産技術向上、流通・販売促進、普及啓発を目的とした事業を実施した。 【実績】 ・特用林産物生産状況調査(県内16箇所) ・森の恵みPR活動等	農林水産部 林業振興課
22	くまもと県産材需要拡大総合推進事業のうち「県産材需要拡大消費者対策事業」	729
	マスメディア等を使った県産木材のPR事業を行った。 【実績】 ・木材関係事業者が組織する団体が主体的に実施する活動のうち、「熊本日日新聞」等に広告を掲載(計5回)及びSNS広告を実施(6か月間)	農林水産部 林業振興課

	くまもとの木と親しむ環境推進事業	21,120
23	県産木材で作った木製遊具の貸し出し及び森林の役割や木のよさを伝える紙芝居や絵本の読み聞かせ等、全5事業を実施し、木と親しむ環境の普及啓発に取り組んだ。 【実績】 ・木製遊具貸出等: 41団体 ・県内の幼稚園・保育園への机・椅子等の木製品の導入に係る補助: 9事業体 ・小学5年生社会科用副読本、中学技術家庭科用副読本の作成 ・木育インストラクター養成講座(初級・中級・上級) ・木育の取組みを行う団体等に対する補助: 11団体	農林水産部 林業振興課
	稼げる水産業づくり推進事業のうち「魚食普及推進の取組」	408
24	熊本県魚食普及推進協議会を通じて、「くまもとの魚」を使用した魚料理教室などの魚食普及活動を支援し、一般消費者の家庭での魚の調理や魚食の習慣化、理解醸成を図った。 【実績】 ・県産魚介類を食材とした料理教室 開催回数: 37回、参加者: 834名 ・県産魚介類を食材としたレシピのSNS投稿: 投稿数27件	農林水産部 水産振興課
	県立高校キャリア教育充実事業(専門高校インターンシップ等推進事業)	5,312の一部
25	農業、工業、商業、水産、家庭、福祉を学ぶ専門高校生が、1、2年生からの専門科目での学びにおいて地域社会や産業界と協働し、地域課題解決等のための商品開発、企画・提案、機器製作、イベントの開催、販売実習等に取り組んだ。 商品開発を行う際には、自校生産の農産物や地域特産物を活用する等、地産地消の意識の醸成を図った。 【実績】 各専門分野の特色を活かし、地元資源の有効活用を目指した6次産業化と効果的な情報を発信したり、地域産業界と連携を図り共同開発や販売をしたりするなどして、県産物に付加価値を付け普及促進活動に取り組んだ。 (参考) ・工業系学科: ものづくりを通した害獣駆除装置の製作 ・農業系学科: 農産物の商品開発・販売 ・商業系学科: 地元特産物を活用した商品開発と販売、ジビエ料理の開発、販売 ・水産系学科: 熊本県産水産資源を活用した商品開発、販売 ・家庭系学科: 地元団体と連携し郷土料理講習の開催や、各種催しにて郷土料理の普及活動 ・福祉系学科: 認知症予防を目的とした木製パズルの開発・製造・販売まで連動した学習を展開	教育庁 高校教育課
	学校給食・食育推進事業	1,450の一部
26	令和6年度は県学校給食会、県農林水産部、県教育委員会の三者で「学校給食における県産食材の活用推進に係る連携協定」を締結し、県産トマトを使用したパンとゼリーを商品化するなど、学校給食における地産地消の推進を図った。また、「ふるさとくま(熊)さん(産)デー」及び郷土料理等を活用した食育に取り組み、児童生徒の県内の自然や食文化、産業についての興味・関心を深めるとともに、郷土愛の醸成を図った。 【実績】 ・ふるさとくまさんデーを毎月19日に実施 ・学校給食県産食材利用率は金額ベースで64.1%(文科省抽出調査) ・学校給食・食育研究推進校を1校指定: 南阿蘇村立白水小学校(R7年度まで)	教育庁 体育保健課

(2) 県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大

県内の物産館、直売所及び量販店等における県内農林水産物等の販売促進活動を支援し、県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大を図る。

番号	事業又は取組名	令和6年度予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部局・課
27	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「地産地消協力店の認知度向上の取組み」	22,135の一部
	地産地消協力店の認知度向上と県産品の消費促進を図るため、SNS配信用のPR動画の制作・発信を行った。また、視聴を促すためのPRポスター等を制作し、地産地消協力店に配布した。 【実績】 ・PR動画の本数(全体版10本、ダイジェスト版20本) ・PR動画のSNS発信(R7.3.1～)	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課
28	県産品販路開拓事業のうち「くまもと物産フェア事業」	900
	県産品の販路拡大を図るため、商工団体と農林水産団体が連携し、令和6年10月26日～27日の2日間、アミュ広場で開催した。また、特設サイト「くまもと物産フェアオンライン」にて県産品の紹介、販売を行った。 【実績】 ・リアル催事:参加事業者数 74社、来場者数 25,868人	食のみやこ推進局 販路拡大ビジネス課
29	くまもとで乾杯！県産酒推進事業	7,539
	県産酒の認知度向上及びくまもと県産酒で乾杯条例の周知のため、下記の取組みを行った。 【実績】 ・各種メディアやホームページによる県産酒の情報発信 ・20歳以上の大学生を対象とした販促アイデアコンテスト実施	食のみやこ推進局 販路拡大ビジネス課
30	球磨焼酎リブランディング事業	42,000の一部
	球磨焼酎の魅力発信と販路拡大を図るため、飲食店等における球磨焼酎フェアの開催や蔵元ヒストリー調査・発信事業を実施した。 【実績】 ・熊本屋台村での球磨焼酎フェア(1/17～1/19) ・ヒストリー調査・発信事業における簡易版ブランドブックの制作	食のみやこ推進局 販路拡大ビジネス課
31	くまもと県産品消費喚起緊急支援事業のうち「くまもと県産酒ブランド力強化事業」	20,000の一部
	新型コロナウイルス感染症や燃料・物価高騰の影響により落ち込んだ県産酒の消費を促すため、売上や販路の回復に向けた事業を実施した。 【実績】 ・「伝統的酒造り」ユネスコ無形文化遺産登録記念イベントの実施(R6.11.24) ・くまもとの日本酒特別番組の放送 (RKKテレビ:12月18日放送、RKKラジオ:12月29日放送)	食のみやこ推進局 販路拡大ビジネス課

32	職員住宅畳替えに伴う県産いぐさの利用	5,649の一部
	本渡広瀬第2住宅(162枚)、本渡広瀬第5住宅(150枚)、人吉東間住宅(225枚)、本渡港町住宅(200枚)の畳裏返しを実施したが、県産いぐさを使用した畳表の新規購入は無し。 【実績】 ・畳裏返し: 737枚	総務部 総務厚生課
33	水前寺二丁目宿舍畳表替えに伴う県産いぐさの利用	1,060の一部
	水前寺二丁目宿舍の入退舎等に伴う畳表替えにおいて、県産いぐさを使用するように仕様書に記載し、消費拡大を図った。 【実績】 ・水前寺二丁目宿舍 119畳 ・電話交換控室 6畳	総務部 財産経営課
34	五木村の物産・林業振興支援	(ゼロ予算)
	五木村の物産・林業振興に係るイベント(「五木村フェア in 阿蘇ミルク牧場」等)や広報等の支援を行った。 【実績】 ・五木村フェア2024 in 阿蘇ミルク牧場(10/12～10/27) ・県庁地下展示スペースにおけるPR(林業・物産振興:11月)	企画振興部 球磨川流域復興局
35	社会福祉施設等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例に基づく地産地消の推進	(ゼロ予算)
	県内の社会福祉施設等の監査の際に地産地消の実施状況について確認するとともに、各施設等に対して地産地消の推進に向けた働きかけを行った。 【実績】 ・監査実施施設数: 87施設	健康福祉部 健康福祉政策課
36	県産麦・大豆生産拡大総合推進事業のうち麦パートナー強化支援	3,620
	生産者、製造業者、販売業者による生産流通連携体制を構築し、大麦を利用した新商品の開発等を実施した。このことで、地元産利用の新たな需要の喚起と県内麦の生産拡大を図った。 【実績】 - 県産大麦使用の新商品開発(2点) - 実店舗での販促チラシ・ポスターの作成	農林水産部 農産園芸課
37	くまもと茶ビジネス確立支援事業	4,893の一部
	広報媒体によるPR及びイベント・キャンペーンの開催を推進するとともに、県外実需者への販促活動や新たな販売経路の開拓に取り組み、県産茶の流通の促進及び消費の拡大を図った。 【実績】 ・テレビやSNSで「くまもと茶」のCM放送やプレゼントの実施 ・小学校でのお茶講座	農林水産部 農産園芸課

	いぐさ産地総合支援事業	9,922
38	高品質畳表の生産を拡大し、消費者に信頼される畳表の安定供給を行い、国際競争力のある生産体制の強化を図った。特に、関係業界と連携した需要拡大活動、畳表の産地消費やトレーサビリティ化を推進した。 【実績】 ・アミュプラザ新酒まつりなどの各種イベントでのPR活動 ・将棋会館への県産畳表の提供	農林水産部 農産園芸課
	「毎日くだもの200グラム運動」の啓発活動支援	885の一部
39	TV番組のプレゼント企画へ旬の果物を提供し、県内消費者への情報発信を実施した。また、県内幼稚園・保育園等へのみかん・果物の情報提供を行った。 【実績】 ・TKU「英太郎のかたらんね」のプレゼント企画への果物提供5回 ・県内幼稚園・保育園等へのみかん提供(100園、園児・先生10,985名) ・尚綱大学の学生、教職員を対象に果物への理解促進活動の実施	農林水産部 農産園芸課
	一般社団法人熊本県野菜振興協会が実施する産地育成事業	2,415
40	低コストや安全・安心な野菜生産に向けた新技術の確立、優良品種の選定等、現地での実証試験を実施し、野菜生産の安定化を図った。また、野菜ソムリエ活動支援及び技術部会の研修会等を実施し、産地育成につながる支援を行った。 【実績】 展示ほ設置:7箇所 技術部会の研修会:2回 野菜ソムリエ取得者に対する研修会:1回	農林水産部 農産園芸課
	くまもとの花消費拡大推進活動への支援(花き協会補助事業)	1,604
41	「花のある豊かな暮らし」の普及推進のため、県内関係団体(経済連、花き市場)、市町村、農協等で構成する「熊本県花き協会」と花き関係機関の連携強化を図り、県内における県産花きの消費拡大を推進した。 【実績】 ・「父の日」、「母の日」等にちなんだ県産花きによる市電の装飾 ・小学校での寄せ植え体験教室の開催	農林水産部 農産園芸課
	くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「熊本県産地鶏生産流通対策事業」	520
42	販促資材の作成・配布、イベントでのPR活動、県HP等を活用した販売情報の提供、生産体制強化に係る生産者指導等、「熊本県高品質肉鶏推進協議会」の普及啓発活動を支援した。 【実績】 ・天草大王消費拡大キャンペーン:応募総数150通、ポスター200枚、天草大王PR情報記載ハガキ2000枚の作成及び配布 ・生産農家巡回指導:9/6,9,18及び10/17に8戸指導 ・熊本県高品質肉鶏推進協議会 定例会:8回開催	農林水産部 畜産課

	くまもと畜産物流通戦略緊急対策事業	6,508
43	熊本県産牛肉の競争力強化・安定的発展を推進するため、「熊本県産牛肉消費拡大推進協議会」による県産食肉の高付加価値対策、消費者理解促進対策及び流通拠点強化対策を支援した。 【実績】 ・熊本県産牛肉消費拡大推進協議会運営委員会：14回開催 ・くまもと黒毛和牛意見交換会：1回実施 ・くまもと黒毛和牛連携会議：1回実施 ・熊本県産牛肉消費拡大推進協議会通常総会：1回実施 ・GI認証にかかる生産行程管理業務 ・黒川温泉との連携による牛肉消費拡大キャンペーン：1回実施 ・TKUコラボイベント：1回開催 ・ホームページやSNS(Instagram)での情報発信 ・指定店(飲食店・量販店)における牛肉キャンペーン：2回実施 ・県外事務所におけるPR支援 ・量販店での味彩牛フェア：1回実施	農林水産部 畜産課
	鳥獣被害防止対策・ジビエ利活用加速化事業のうち「くまもとジビエ普及拡大支援事業」	2,750の一部
44	鳥獣被害防止対策の一環で捕獲したシカ及びイノシシの肉を地域資源として有効活用し、「くまもとジビエコンソーシアム」を核として「くまもとジビエ」の理解促進と消費拡大を図った。 【実績】 ・ジビエ料理フェアの開催：55店舗参加	農林水産部 むらづくり課
	くまもとの木を活かす木造建築物等推進事業のうち「住宅等への県産資材提供事業」	24,337
45	木造住宅の新築及び増改築を施工する工務店等に県産木材及び県産緑化木を提供することによりその良さを周知啓発し、木材の需要拡大を図った。 【実績】 ・県産材提供件数：住宅66棟、3世代住宅枠3棟、伝統構法による住宅枠1棟	農林水産部 林業振興課
	稼げる水産業づくり推進事業のうち「くまもとの魚販売力強化事業」	2,275
46	県産水産物の認知度向上と販売力強化を図るため、量販店や鮮魚販売店が行う「くまもとの魚」のPRキャンペーンの支援を行った。 【実績】 ・「くまもとの魚」で家ごはん！キャンペーン：県内鮮魚店等 50店舗	農林水産部 水産振興課
	稼げる水産業づくり推進事業のうち「くまもと四季のさかな認知度向上事業」	2,000
47	「くまもと四季のさかな」を軸として県産水産物の旬を広く周知することで、地産地消に繋げた。 【実績】 ・「くまもと四季のさかな」を題材とした記事をリビング新聞に計5回掲載 ・「くまもと四季のさかな」ラッピングバスの運行(12/13～3/15) ・サクラマチクマモトにおいての周知イベントの実施	農林水産部 水産振興課

	公営住宅維持補修事業のうち「県営住宅畳替え工事」	638,754の一部
48	更新時期に至った畳(畳床及び畳表)の取替えにおいて、県産いぐさを使用した畳表とした。 【実績】 ・5団地164戸、1,930畳	土木部 住宅課
	公営住宅ストック総合改善事業のうち「住戸改善工事」等	163,616の一部
49	住戸内のバリアフリー化を行う「住戸改善工事」や、瓦葺き替え工事などで県産木材を使用した。 【実績】 ・1団地2棟、7m ³	土木部 住宅課
	患者給食材料の購入	85,254
50	給食業務委託に際しての仕様書において、一部食材については熊本県産又は熊本県内製造品を使用し、その他の食材についても、可能な限り熊本県産又は熊本県内製造の食材の使用に努めるよう規定することにより、引き続き熊本県産又は熊本県内製造の食材の使用に努めた。 【実績】 ・給食材料のうち、米、鶏卵については熊本県産品を使用。牛乳、豆腐類、パン類及び醤油・味噌・酒類については、熊本県内製造の食材を使用 ・その他の食材についても、可能な限り、熊本県産又は熊本県内製造の食材を使用	病院局 総務経営課
	警察施設維持管理事業	6,700の一部
51	県産いぐさ畳による宿舍の畳替えを実施した。 【実績】 ・畳替え:32戸544畳	警察本部 会計課

(3) 経済循環及び地域活性化

農林水産業と商工業、観光産業、学校等多様な産業又は組織との連携等により、県内農林水産物等を活用した加工商品の開発やイベントの開催等を行い、地域経済の活性化を図る。

番号	事業又は取組名	令和6年度予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部局・課
52	6次産業化総合支援強化事業	54,454の一部
	生産者により高い利益をもたらす農産加工等の6次産業化への取組みを重点的に進め、「稼げる農林畜水産業」の実現を推進した。 【実績】 ・機器導入:4事業者 ・新商品開発支援:4事業者	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課
53	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「地産地消協力店と連携した情報発信の取組み」	1,678
	県民が県産品を消費する行動につなげるために、県産品を販売・飲食できる地産地消協力店と連携し、県公式SNSや地産地消サイトで情報を発信した。 【実績】 ・地産地消協力店数:449店(R7.3月末) ・R6年度指定店舗数:29店(R7.3月末)	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課
54	農商工連携推進事業	(ゼロ予算)
	農商工連携推進のため関係機関との情報共有等を行った。また、熊本県農商工連携推進協議会において、農商工連携の活性化について各機関が連携して事業者への支援を行うため、農商工連携調整部会を開催し、支援状況の情報交換を行った。	食のみやこ推進局 販路拡大ビジネス課
55	マーケット拡大支援事業のうち「新商品開発等支援事業」	3,634
	産業技術センターやアグリビジネスセンター等の支援を受け、農商工連携により新商品を開発し、テストマーケティングを行う事業者及び県外への展示会等へ出展する事業者を支援した。 【実績】 ・補助:7件	食のみやこ推進局 販路拡大ビジネス課
56	物産振興事業	2,967
	熊本県物産館にて、県産品のPRやマーケティングの場を提供するとともに、新規商品を県内外にアピールし、県産品の販売を推進するため「優良新商品表彰事業」を実施した。 【実績】 ・応募総数23点(民芸工芸・日用品部門4点、食品部門19点)	食のみやこ推進局 販路拡大ビジネス課

	資産の有効活用(県有施設における自動販売機設置事業者の選定)	(ゼロ予算)
57	募集要項に県内で生産又は加工した商品を優先的に取り扱うよう記載するとともに、当該商品を一定品目以上取り扱うことを条件として公募を行い、設置事業者を決定した事例もあった。 例)県庁プロムナードの自動販売機(当該商品を5品目以上) 【実績】 ・自動販売機の設置決定台数 38台(うち条件付き13台)	総務部 財産経営課
	地域づくりチャレンジ推進事業のうち「交流の促進の取組」	183,000の一部
58	市町村や地域団体等の自主的な地域づくりを後押しするため、地域の特徴的な歴史や自然、文化などの地域資源や特性を生かし、県内外(地域外)からの交流人口を拡大し、関係人口の創出・拡大を促進する取組みへの支援を行った。 【実績】 51件の取組みへ支援	企画振興部 地域振興課
	地域づくりチャレンジ推進事業のうち「起業の誘発の取組」	183,000の一部
59	地域の課題を解決するため、ビジネスの手法を活用して取り組む事業の開始又は規模拡大に向けた取組みへの支援を行った。 【実績】 R6年度は申請無し	企画振興部 地域振興課
	水俣・芦北地域産業振興と雇用創出事業	50,755の一部
60	環境配慮型農業の推進や、地域産品のブランド力強化・販路開拓、観光素材の磨き上げや林産材活用推進等を行った。 【実績】 ・展示商談会、物産展等の出展支援 ・アボカド実証栽培及び販路開拓支援 ・地元産品を活用した新商品の開発支援(4品) ・和紅茶のブランディング及び販路開拓支援 ・水産資源(マガキ・アサリ等)のブランディング及び販路開拓支援 ・地元林産材の利活用推進 等	企画振興部 地域振興課
	くまもとオープンイノベーション推進事業のうち「アドバイザー配置事業」	2,500の一部
61	県内企業の商品開発や国内での販路開拓を進めるため、食と健康に係る専門アドバイザーを配置し、企業や関係団体の要請に基づき個別支援を行った。	商工労働部 産業支援課
	研修指導事業(食品加工室)	408
62	県産農産物を活用した売れるものづくりを支援するため、商品の企画力、加工技術、品質や衛生管理技術の向上に向けた研修指導等を実施した。 【実績】 ・食品加工技術研修会:2回 ・技術相談及び指導:246回	商工労働部 産業技術センター

	農産加工研究開発事業(特別支援事業)	1,142
63	県特産柿「太秋」について、廃棄される軟化果の高付加価値化のため、軟化果ピューレの加工利用について評価した。 品種の異なる多様な麴と県産農産物(サツマイモ、落花生)を組み合わせ、最適な発酵条件の検討及び発酵後の製品特性を調査した。 【実績】 ・軟化果の果実ピューレ加熱時のゲル物性について、正常果との違いを明らかにした。また、食品加工研修会において当研究について紹介した。 ・各麴と農産物を掛け合わせる際の最適な発酵条件(温度・配合)及び発酵後の成分特性変化を明らかにした。また各麴の特性と発酵後の成分変化との関連性を調査した。	商工労働部 産業技術センター
	熊本県食料産業クラスター協議会	(ゼロ予算)
64	熊本県食料産業クラスター協議会が開催する食農連携促進企画運営会議にアドバイザーとして参加し、支援した。 【実績】 ・支援回数:1回	商工労働部 産業技術センター
	熊本県木材利用促進本部会議	(ゼロ予算)
65	県が行う公共施設・公共工事等において、可能な限り県産材の利用推進を図り、関連する取組を市町村や関係機関、ひいては県民まで波及を図るため、以下の事業に取り組んだ。 (1)公共施設における木材利用の推進 社会福祉施設、公営住宅、学校施設、庁舎等の木造化・木質化に向けた普及 (2)公共工事における木材利用の推進 仮設防護柵、型枠、工事看板、木製構造物等で利用 (3)備品や消耗品等における木材利用の推進 木になる紙の使用 【実績】 ・促進本部会議:8月開催 ・令和5年度における対象施設の木造率:79%(うち県施設については100%)	農林水産部 林業振興課

(4) 農林水産業が果たす多面的機能の再認識

農林水産業及び食に関する体験イベント等を通じて、都市住民と農山漁村住民、生産者と消費者の交流活動を促進し、農林水産業が果たしている多面的機能(国土や自然環境の保全、水源の涵養、癒しの場等)への再認識を図る。

番号	事業又は取組名	令和6年度予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部局・課
66	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「くまもと食・農ネットワーク活動への支援」	1,495の一部
	県民に地産地消を広く推進するため、生産者及び有識者、消費者など様々な立場から構成される「くまもと食・農ネットワーク」が行うイベントやPR等の取組みを支援した。 【実績】 ・PR(SNS、広報課番組等)3回	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課
67	くまもと地産地消革新プロジェクト事業のうち「県民参加型イベントの実施」	22,135の一部
	県産品の認知度向上や消費行動を促進するため、県内飲食店や生産者、大学生、在熊台湾人等が参加する県民参加型イベントを実施した。 【実績】 ・生産者と飲食店のマッチング商談会(2回) ・県内大学生が出演する県産品の魅力に関する番組の放送(1回) ・在熊台湾人向けの県産品を使用した料理教室及び動画の配信(2回)	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課
68	地域の縁がわづくり推進・支援事業	2,908の一部
	地元農産物を活用した子ども・地域コミュニティ食堂を含む地域の縁がわ取組み団体を対象とした情報交換会を行った。また、これらの取組み等を紹介する普及啓発用DVDの貸出や配布を行った。 【実績】 ・会議形式での開催1回(参加者数:計154人) ・DVD貸出等4件	健康福祉部 健康福祉政策課
69	地域福祉総合支援事業	20,598の一部
	地域の縁がわ等の整備や、地域の縁がわ等における地元の農林水産物等を活かした配食・会食サービス等に対して助成を行った。 【実績】 ・交付決定:17団体、交付確定額:8,307千円	健康福祉部 健康福祉政策課
70	地下水と土を育む農業総合推進事業のうち「県民理解の促進・消費拡大推進事業」	12,467
	地下水と土を育む農業等の認知度向上を図るため、消費者を対象とした店舗販売促進キャンペーン等を行った。また、本県の宝である地下水と土に対する県民の理解を促進するため、学校教育を通じた機会を提供することを目的として、小学校4年生用に副読本を作成し、県内の全小学校に配付した。 【実績】 ・店舗キャンペーン参加者:1,918人 ・副読本配布数:17,272部	農林水産部 農業技術課

71	地下水と土を育む農業総合推進事業のうち「くまもとグリーン農業推進事業」	7,500
	くまもとグリーン農業の推進を目的として、くまもとグリーン農業ホームページ等を活用した情報発信を行うとともに現地普及活動等を通して、生産・応援宣言者数の増加を図った。 【実績】宣言者の増加数(追加・変更含む)(R6.4～R7.3) ・生産宣言:95件 ・応援宣言:51件	農林水産部 農業技術課
72	都市農村交流対策事業	6,441
	都市農村交流(グリーン・ツーリズム)をコーディネートする組織と人材の育成確保、受け入れ体制の整備、情報発信の拡大に向けた取組みを支援し、交流・滞在人口の増加を図った。 【実績】 ・補助:1市	農林水産部 むらづくり課
73	未来につなぐふるさと応援事業のうち「農〇連携事業」	8,500の一部
	農業と教育、観光、福祉等が連携した農業・農地及び土地改良施設の多面的機能に対する理解向上に役立つ交流活動を支援した。 【実績】 ・補助:13市町25団体	農林水産部 むらづくり課
74	未来につなぐふるさと応援事業のうち「棚田地域活動支援事業」	3,500
	棚田における熊本県民を対象とした体験型のツアーや保全技術の伝承活動。都市部の参加者と地元住民の交流を通じて棚田のすばらしさと現状を伝え、県民の棚田保全への理解を深めた。 【実績】 ・補助:7団体	農林水産部 むらづくり課

(5) 条例の周知、意識啓発等、条例の直接的な推進に係る取組

番号	事業又は取組名	令和6年度予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当部局・課
75	くまもと地産地消推進庁内連絡会議	(ゼロ予算)
	庁内各部局の地産地消の推進に関する施策について、「作業部会」を開催し意見交換を実施した。また、「連絡会議」では、議会報告内容及び構成課の施策について意見交換を実施した。 【実績】 ・作業部会(R6.7.10) ・連絡会議(R6.7.29) ・県ホームページに施策公表(R6.10.7)	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課 (及び連絡会議構成課)
76	様々な広報媒体を活用した県民への条例周知	(ゼロ予算)
	県ホームページ等に条例や地産地消に関する情報を掲載、発信するとともに、各種の広報媒体を活用して県民への条例の周知・浸透と地産地消の理解醸成に取り組んだ。 【実績】 ・県ホームページ等への情報掲載: 随時	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課
77	イベント等での条例の周知及び情報発信	(ゼロ予算)
	条例周知と地産地消の推進を目的とした展示を各種イベント等で実施し、来場者に対して広く情報発信した。 【実績】 ・2024くまもと農業フェア(R6.11.9～11.10)	食のみやこ推進局 流通アグリビジネス課